令和元年５月28日

公益財団法人 日本検疫衛生協会
理事長　小 坂　智 規　殿

公益財団法人 日本検疫衛生協会
監 事　古 澤　健 治
公益財団法人 日本検疫衛生協会
監 事　宮 崎　ひろ子

監 査 報 告 書

私達監事は、平成30年４月１日から平成31年３月31日迄の事業年度の理事の職務の執行状況を監査致しました。その方法及び結果について次の通り報告致します。

１　監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人達と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めると共に、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決済書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査致しました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討致しました。

更に、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその付属明細書並びに財産目録について検討致しました。

２　監査意見

（１）　事業報告等の監査結果

一　事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。

二　理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

（２）　計算書類及びその付属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその付属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点に於いて適正にしめしているものと認めます。

以上